

平成29年度図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

<p>【対応状況・凡例】</p> <p>◎ すでに対応している項目</p> <p>○ 早急に対応を行う項目</p> <p>□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目</p> <p>－ 対応が困難な項目</p>
--

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	会員の中に手芸の得意な方がいて、「大きなカブ」の人形製作に関するアイデアが出された。どのように活用できるか、うまくコーディネートしていただきたい。	子供たちの健やかな成長に活かされるように、関係団体等との情報交換の場を設定するなど支援します。	□
2	私が活動している読書会で、夏目漱石所縁の寺での座禅会を行った。読書だけでなくそういった活動を多くの方と一緒に行っていきたい。	図書館においても地域の方が交流を深めることのできる事業を企画すると共に、読書会などへの場の提供にも努めます。	□
3	障害者が図書館を利用することが難しい状況があるように思う。障害者が気兼ねなく図書館を利用するためには地域の理解も大切だと考える。そこで、福祉作業所主催で障害に関する講座を図書館で定期的に行うことは可能か。	地域図書館の役割として、区民の障害者理解を深める講座を開催し、障害のある方の利用を支援していくことは大切だと考えています。共催実施を含めて、図書館会議室をご活用ください。	□
4	利用者がくつろげるカフェのようなものがあるといい。駐輪場も広いので移動式の販売や常設で週替わりのパン販売など、障害者施設と連携してできたらいい。	図書館が地域の憩いの場や交流の場となるよう施設整備を進めます。敷地内および館内での食品販売については、提供場所等難しい点もありますが検討します。	□
7	病院に入院されている方の中には本を読みたい方がいると思うが何かサービスはあるか。	一部の図書館では療養中の子供に対する読み聞かせを行っていますが、高齢者など一般の入院患者へのサービスは行っていません。ボランティアの方の協力を含め、実施可能な方法を研究します。	□

6	施設で高齢者に対して読み聞かせをすることがあるが、職員が忙しくて本を借りに行くことが難しい。まとめて借りることは可能か。	団体への貸出し制度があり、団体登録をすれば300冊までの本を3か月間借りることができます。	◎
8	館内はバリアフリーとか、高齢者の方が来られて休める場所とかはあるのか。	施設はバリアフリーとなっています。利用者の方が自由に飲食などできる場所として、1階2階それぞれに休憩コーナーを設けています。	◎
9	よく高齢者でいなくなってしまう方がいて、どこに行っているかと思うと、図書館で休まれているたり、新聞を読んで時間をつぶしている方がいると聞いている。そういう方は何人くらいいるのか。	徘徊癖のある利用者か否かかは、判断が難しく、何人いるかは把握していません。認知症高齢者への対応は、図書館としても重要な課題と認識していますので、職員は認知症の理解などをテーマとした研修を受講しています。	□
5	会議室の利用はどのようにすればよいのか。	図書館に関連する行事・活動を行う場合は、利用予定日の3か月前の月の初日から、その他の活動の場合は利用予定日の2か月前の月の初日からの申し込みとなります。利用団体によっては使用料が免除・減額となる場合もあります。	◎
10	図書館にはどのようなサービスがあり、どのような施設があるかといったパンフレットはあるのか。また、会議室が貸出しされていることは、あまり知られていないが詳しい利用方法について書かれたものや、石神井図書館独自のものなどあるのか。	区立図書館共通のパンフレットとして、「練馬区立図書館案内」（懇談会で配付）があります。また、石神井図書館独自の施設案内および会議室利用案内も作成しています。	◎

※練馬区立図書館全体に関する質問、意見等については、別項「図書館全体に関する意見、意見の概要」にまとめました。